

# 国の補正予算（約14兆円）のうち、緊急性のない防衛費・半導体企業支援予算を削って、国民の暮らしを支える分野に厚く予算配分を！

1月10日



千葉敦議員

① 岩手県が行つた物価高騰対策貸上げ支援の事業に申請し支給された事業者に対して、上乗せ支援をすべきでないか  
② 奥州市が今年度行つた中小企業物価高騰対策支援事業は、多くの事業者から歓迎された。景気低迷が続いているが、「景气回復にはまだほど遠い状況」だとして、

① 岩手県が行つた物価高騰対策貸上げ支援の事業に申請し支給された事業者に対して、上乗せ支援をすべきでないか  
② 奥州市が今年度行つた中小企業物価高騰対策支援事業は、多くの事業者から歓迎された。景気低迷が続

千葉敦議員は、奥州市内事業者を対象とした7月から9月の景気動向調査の結果は、4月から6月の同調査と比べ若干の改善が見られるが、「景气回復にはまだほど遠い状況」だと

## 市単独での実施はむずかしい

### 「物価高騰対策地方臨時交付金（重点支援地方交付金）」を活用し、市内事業者の支援を

令和6年度12月議会が11月29日～12月19日まで開催されました。日本共産党市議団の一般質問の概要を紹介します。



① 雇用と営業を守るため「重点支援地方交付金」を活用し独自財源も入れ補正予算の迅速な編成、② 中小事業者に家賃、リース料などの固定費補助や水道料金補助、賃上げ支援を実施すること、③ 畜産農家等への飼料・肥料、光熱費の支援、④ 医療機関、高齢者施設、保育所、福祉事業所など公定価格で運営している事業所への水道光熱費・燃料費、食材費の支援、⑤ 放課後児童クラブ、幼稚園、市民利用施設、子ども食堂、私立学校への水道光熱費等の補助、⑥ 小中学校の給食費の引き上げを行わないこと、⑦ 市奨学生の支給額と募集枠の拡大、⑧ 一般家庭の水道光熱費の減免支援、⑨ 物価高騰支援給付金事業をひとり親世帯や低所得世帯に拡大すること、⑩ 子育て世代へのおむつ等育児用品の購入支援を行うこと

**国への要請**

- ① 「重点支援地方交付金」の増額、② 消費税の緊急減税、③ 大学授業料の値上げ中止、無償化、④ 低すぎる公定価格への財政支援、⑤ ガソリン代助成を国に働きかけること

昨年末、国の補正予算に「重点支援地方交付金」が経済対策として盛り込まれました。日本共産党奥州市議団は、1月10日、倉成淳市長に、改めて「交付金」を活用し長引く物価高騰から住民のくらしと生業を守るためにの支援策について10項目、また、国に対して5項目について要請することを求めました。

### 要望項目

の支援、④ 医療機関、高齢者施設、保育所、福祉事業所など公定価格で運営している事業所への水道光熱費・燃料費、食材費の支援、⑤ 放課後児童クラブ、幼稚園、市民利用施設、子ども食堂、私立学校への水道光熱費等の補助、⑥ 小中学校の給食費の引き上げを行わないこと、⑦ 市奨学生の支給額と募集枠の拡大、⑧ 一般家庭の水道光熱費の減免支援、⑨ 物価高騰支援給付金事業をひとり親世帯や低所得世帯に拡大すること、⑩ 子育て世代へのおむつ等育児用品の購入支援を行うこと



佐藤美雪議員  
佐藤美雪議員は、いじめ不登校対策と

ても年々増加している状況を取り上げ、市のいじめ不登校対策について、県から派遣されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置状況では、充分に対応できていないのではないかと指摘。市独自の取り組みを検討すべきだ、と質しました。

過去最多となり、奥州市においても年々増加している状況を取り上げ、市のいじめ不登校対策について、県から派遣されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置状況では、充分に対応できていないのではないかと指摘。市独自の取り組みを検討すべきだ、と質しました。

### 市独自の配置は難しい

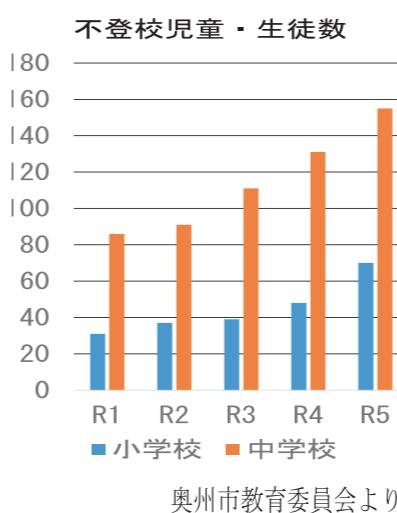
教育委員会は、いじめ不登校対策として児童生徒の居場所づくりや登校しやすい環境を整えること、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる相談、支援体制をとっている。また、不登校児童生徒の受け皿としてフロンティア奥州、同江刺の2カ所を設置。50名ほどが利用登録しております。昨年同時期と比べ、倍化していることを明らかにしました。

スクールカウンセラーは市内小中学校に7名、スクールソーシャルワーカーは中学校5校に1名を配置。佐藤美雪議員は、児童生徒が安心して学習できる環境の基となる、トイレの洋式化を急ぐべきだとして質しました。佐藤美雪議員は、児童生徒が安心して学習できる環境の基となる、トイレの洋式化を急ぐべきだとして質しました。

### 関係部局と協議したい

教育委員会は、トイレの洋式化の計画として、令和8年度末の60%を目標とし、令和6年度で46.4%と設定。本年度末で約58%を見込んでいる状況であるが、少しでも多く洋式化を進められるよう、関係部局と協議していくことを述べました。

### 学校のトイレの洋式化を急ぐべきでないか？



### 誰でも利用できるトイレ整備を！

佐藤美雪議員は、「便座が冷たくて冬は使用できない」、築50年の学校では「臭気が廊下や教室に広がる」という子どもの声を取り上げ、対策を求め、インクルーシブ教育や災害避難所の観点からも多目的トイレなど、誰でも利用できるトイレの設置を検討すべきだと提案しました。

### 未配置の学校でも相談できるようにすべき

佐藤美雪議員は、スクールカウンセラーが未配置の小学校で、相談できる体制についての周知がないため、いざ、相談したい時にどうしたらいいのかわからないという状況がある。児童生徒、親に寄り添い、いじめ、不登校の重大事態に陥る前に相談、対応ができるようになります。県に対しても要望をしていきたい」と述べるにとどりました。

## 日本共産党奥州市議団



佐藤美雪議員

瀬川貞清議員

千葉敦議員

菅原明議員

今野裕文議員

# 市政報告

2025年1月2月号  
奥州市議会日本共産党議員団  
《連絡先》  
奥州市役所日本共産党議員団控室  
水沢大手町1-1 ☎24-2111  
日本共産党奥州市委員会  
水沢大手町三丁目59 ☎24-2049 fax24-2049